



押尾川親方にはさみを入れる津谷市長

大銀杏を切り落とす尾車親方



押尾川親方へ市民栄誉章を授与

豪風引退 押尾川襲名披露

～これまでの功績を称え「市民栄誉章」を授与～

北秋田市出身力士として活躍した押尾川親方（元関脇豪風）の「豪風引退・押尾川襲名披露大相撲」が、2月1日に両国国技館（東京都）で行われ、多くの人が郷土力士の最後の勇姿を見届けました。

この日は、両国国技館がほぼ満席となる中、北秋田市からは「豪風引退・押尾川襲名披露大相撲観戦ツアー」の56人が参加しました。

引退相撲では、豪風最後の取組として、長男の海知（かいち）君と対戦。豪風の得意技である一本背負いで海知君に転がされ「うれしい黒星」で土俵生活を締めくくりました。

続いて、北秋田市市民栄誉章授与式が土俵上で行われました。津谷市長は「長年に渡り大相撲界の第一線で奮闘する姿は、ふるさとの市民に勇気と感動を与えてくれた。また、一昨年度からは北秋田市ふるさと大使に就任し、市のPR活動にも多大なるご尽力をいただいている。これからも我が北秋田市民の誇りとして、益々活躍されることを市民とともに願う」などと述べ、第一号となる市民栄誉章を授与しました。

このあと行われた断髪式では、津谷市長をはじめ、横綱白鵬関や荒磯親方（元横綱稀勢の里）、佐竹敬久秋田県知事、親交のあった関係者ら約270人がはさみを入れ、最後に師匠の尾車親方（元大関琴風）が大銀杏を切り落としました。まげに別れを告げた押尾川親方は「相撲に感謝」と書かれた紙を掲げ、大きな声援を浴びました。最後に押尾川親方は「これからは、ここから見た光景を忘れず、感謝の気持ちを持って歩んでいく。怪我に強く、礼儀を重んじる、勝負強い力士を育てていきたい」と今後の決意を述べました。

主な経歴

年	時期	出来事
2002	2月	尾車部屋に入門
	夏場所	幕下15枚目格付け出で初土俵
	秋場所	十両昇進
2003	春場所	新入幕
	秋場所	十両優勝
2008	春場所	新小結
2014	名古屋場所	横綱・日馬富士戦で金星
	秋場所	新関脇
2016	8月	秋田県県民栄誉章を受章
2017	名古屋場所	幕内在位82場所で大卒力士最多
2019	初場所	現役引退を表明



豪風最後の取組は息子の海知君と



息子の海知君とのツーショット



涙ぐみながら謝辞を述べる押尾川親方



引退を迎え両親に感謝